

④ 避難するために知っておきたいこと

土砂災害から大切な命を守るためには、危険な場所から少しでも安全な場所へ逃げるのが一番!

いざという時のために、3つのポイントを日頃から心がけておこう!

1 どこが危険なのか確認してみよう!

- どこが危険なのかな?
- 土砂災害の危険性の少ない所へ逃げるのがいいよね。



ハザードマップを活用しよう!

大雨や地震のときなどにどこが危険なのかや、避難場所を地図で示している「命を守るための宝の地図」みたいなものだよ。
ハザードマップは、インターネットでも確認できるよ。

ハザードマップ 鳥取 検索



凡例	
施設等	● 指定避難所 ● 協定に基づく避難場所
● 指定緊急避難場所 ● 福祉避難所	
■ アンダーパス (冠水するおそれのある道路)	
津波基準水位	河川氾濫浸水深(想定最大規模)
以上 未満	以上 未満
5.0m~	5.0m~
3.0m~5.0m	3.0m~5.0m
0.5m~3.0m	0.5m~3.0m
~0.5m	~0.5m
■ 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)	
■ 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)	
土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
■ 急傾斜地_特別警戒区域	■ 急傾斜地_特別警戒区域(指定前)
■ 急傾斜地_警戒区域	■ 急傾斜地_警戒区域(指定前)
■ 土石流_特別警戒区域	■ 土石流_特別警戒区域(指定前)
■ 土石流_警戒区域	■ 土石流_警戒区域(指定前)
■ 地すべり_警戒区域	■ 地すべり_警戒区域(指定前)

がけ崩れや土石流などの土砂災害が起こった場合に、みんなの大事な命や身体に危害のある恐れがある場所を土砂災害警戒区域(イエロー区域)や土砂災害特別警戒区域(レッド区域)として指定しています。
特にレッド区域は、土砂災害で建物が壊され、命や身体に重大な危害のある恐れがある場所です。

土砂災害の危険がある区域は
早めの避難が肝心です!



▲鳥取市国府町の例を見てみよう。

土砂災害の危険性のある場所はどこかな?

凡例と見比べてみよう。

大雨の時には、がけ崩れや土石流、地すべりが起こる危険性があるし、川があふれて浸水する恐れもあるよ。

自分の家や学校のまわりにはどんな危険があるかな?
ハザードマップで確認してみよう。

土砂災害警戒区域がAR(仮想現実)でもみえるでござる



使ってみよう AR みるでござる
がけ崩れや土石流などの恐れがある場所が、目の前の風景と重なって見えるよ。
(イエローやレッドが重なっている場所に注意しよう)

2 「どこに」「どうやって」避難するか決めておこう

避難場所を決めるポイント

「避難」って何をすればいいの?

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。
「避難」とは「難」を「避」けること。
例えば、以下の行動があります。
普段からどう行動するか決めておきましょう。

<p>行政が指定した避難場所への立退き避難</p> <p>小中学校 公民館</p>	<p>安全な親戚・知人宅への立退き避難</p> <p>親戚・知人宅</p>	<p>安全なホテル・旅館への立退き避難</p> <p>ホテル 旅館</p>
---	---------------------------------------	---

避難経路を決めるポイント どうやって逃げるか、安全に避難できる避難経路を事前に確認しておこう。

最短ルートが必ずしも最適な避難ルートとは限りません。
普段は問題なく通れる道が、災害時には危険な箇所になってしまう場合があります。



- あふれそうな河川に近づくのは危険です。
- 河川が氾濫してなくても、水路から水があふれて、水路やフタのはずれたマンホールの穴に落下する危険もあります。

3 いつが危険なのか?



雨が降る度に逃げてたら大変だよ
どのくらいの雨が危険で、いつ逃げたらいいのかな?

テレビやインターネットで情報を手に入れよう!

- ▶ 警報・土砂災害警戒情報などの「防災気象情報」に注意しよう。
- ▶ 「土砂災害警戒情報」は、自主的に安全な場所へ避難するようにお知らせするものだから、必ずおぼえてね!

大雨が予想されるときは、天気予報やニュースなどで必ず教えてくれる!



土砂災害警戒情報とは
大雨により、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、警戒を呼びかける情報です。
市町村長が避難指示を発令する判断にしたり、住民の自主避難の判断の参考をしてもらう情報です。
危険な場所からの避難が必要な、「警戒レベル4に相当」します。

「いつ」逃げるかを「避難情報や警戒レベルなどで決めておこう」

警戒レベル	状況	わたしたちのとるべき行動	警戒レベル相当情報	市町より発令される避難情報
5	極めて危険	命の危険 自宅の外に避難することがかかって危険である場合は直ちに安全確保をしましょう。	災害切迫 大雨 特別警報	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難!				
4	非常に危険	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくはありません。 全員が安全な場所への避難を完了をしてください。	危険 避難開始の目安	土砂災害警戒情報 避難指示
3	危険	高齢者等の、避難に時間がかかる人は、安全な場所へ避難してください。	警戒 避難準備の目安	大雨警報 洪水警報 高齢者等避難 高齢者意外の人も、危険に応じ、普段の行動を見合わせたり自主的に避難するタイミングです。

(参考)警戒レベル2:大雨注意報 警戒レベル1:早期注意情報

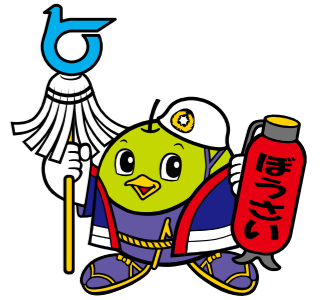
危険度

市町村より発令される「避難指示」などの避難情報に基づいて、適切な避難行動を取りましょう。
避難指示等が発令されていなくても、危険を感じたら「自らの命は自ら守る」という意識を持ち、避難行動を取ってください。
大切なのは「自分で判断すること」です。

- 外出することが危険な場合⇒屋内での安全確保
上層階(2階以上)で、山や崖からできるだけ離れた部屋に避難しよう。

【土砂災害に関する情報提供】

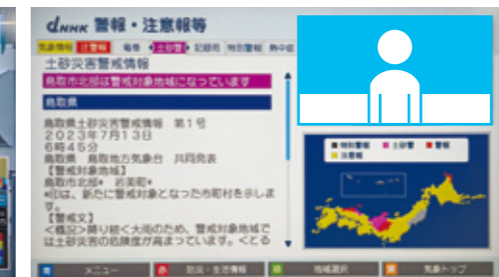
土砂災害警戒情報は、テレビ・ラジオ・スマートフォン・インターネットなどで情報提供されているよ。
あんしんトリピーメールなどの防災メールや防災アプリの利用登録をすることで、情報を自動的に受け取ることもできるよ。



テレビから



NHKのデータ放送から

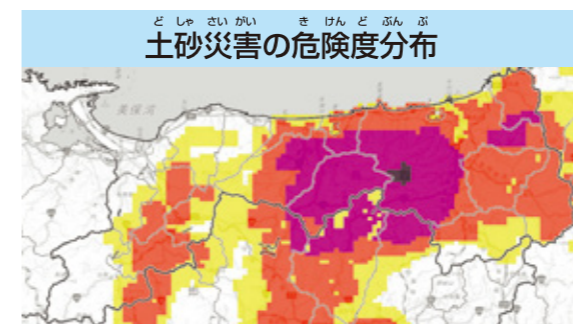


NHK総合テレビ

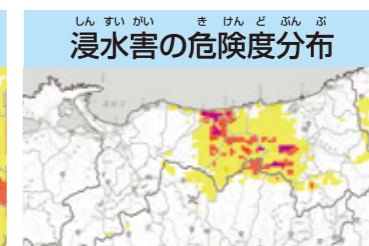
「d」ボタン

「防災・生活情報」

インターネットやスマホから



▲どの位の警戒レベルになっているかの目安が分かる!



▲浸水害や洪水の危険度も見れる!▶



鳥取地方気象台提供

気象庁キキクル
(危険度分布)

▼パソコンからはこちら

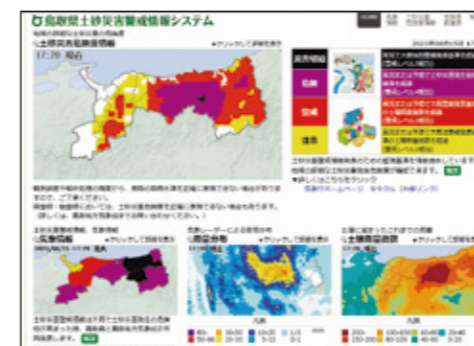
キキクル 検索

▼スマホからはこちら

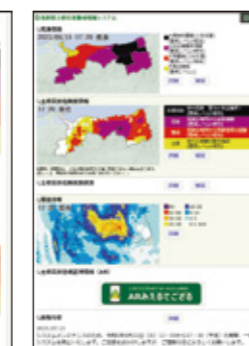


もっとくわしく!

地区単位で土砂災害の危険度などを見ることができます。



▲ホームページ



▲スマホ

鳥取県土砂災害警戒情報システム

▼パソコンからはこちら

鳥取県土砂災害警戒情報 検索

▼スマホからはこちら

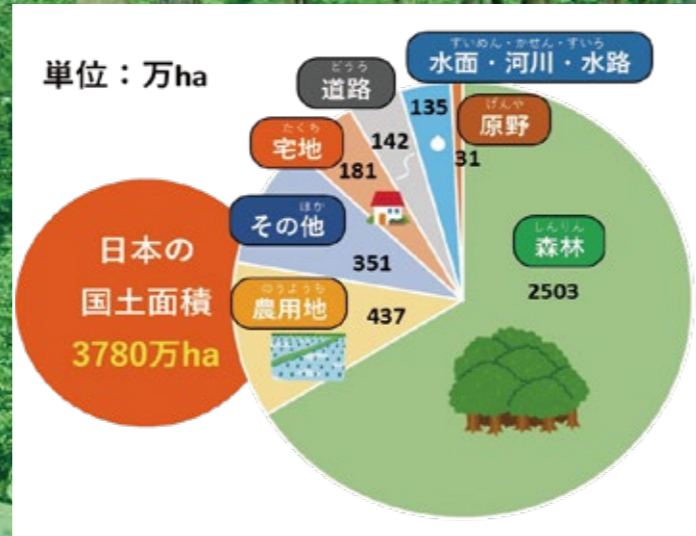


大雨によって起こる災害での犠牲者をゼロにするために、ひとりひとりが備え、命を守る行動を取ってください。

大雨による災害の被害を小さくする森林の働き

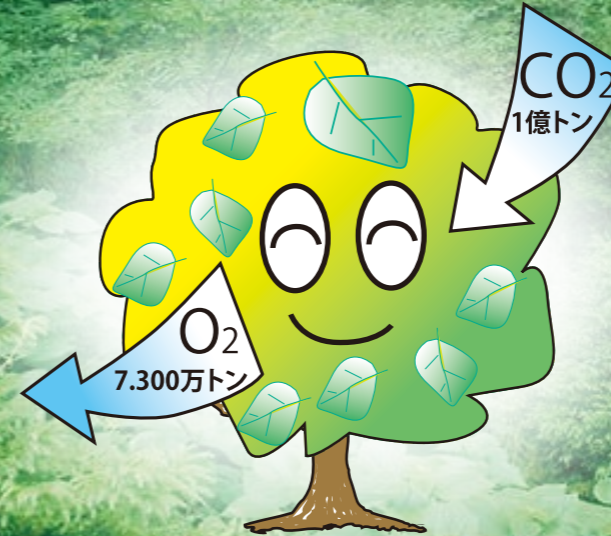
●森林のはたらきとはどういうものだろうか？

- 木材を作る
- 環境を守る
- 水を育む
- 大雨による災害を防ぐ



日本の国土面積の約2/3が森林です。ちなみに鳥取県では約3/4が森林です。

【森林は酸素やおいしい水を作ってくれる】



森や林のふかふかの土は水を貯めることができます。水は、土や岩の中をゆっくりしみこんでいく間に、きれいになって、おいしいミネラルを含んだ地下水になります。

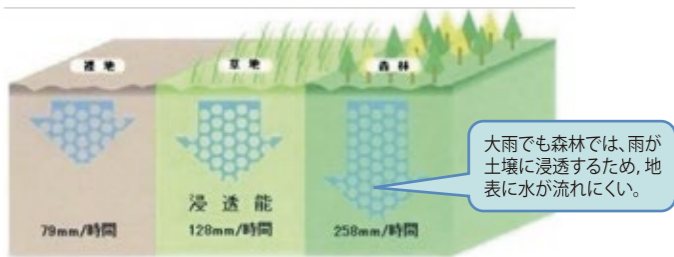


日本林業技術協会「くらしを守る森林」より

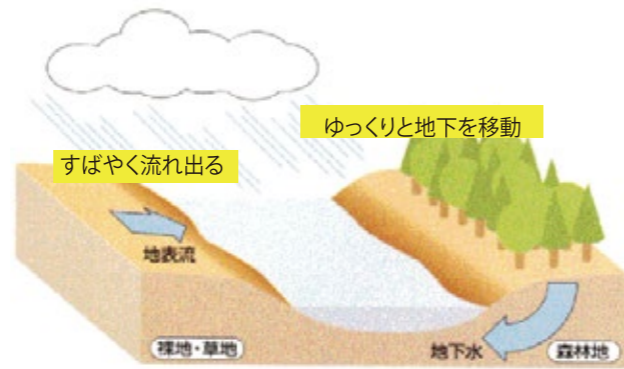
【洪水を防ぐ効果】

水源涵養機能

●植生による浸透能の違い



洪水緩和機能



おいしくて、きれいな水をいつでも私たちが使えるようにするために森林の助けを借りています。森林土壌の空隙は、60～70%です。大小様々なすきまに雨水はいったん入り、ゆっくりと地下を移動する。

結果的に洪水が発生しにくい

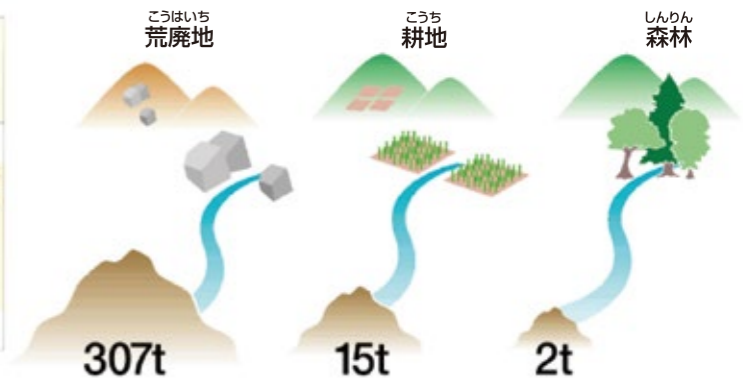
【土砂災害を防ぐ効果】

一年間に流れ出る土砂の量



●樹種別の根の形状

鉛直方向の根が発達	鉛直方向と水平方向の根が発達	水平方向の根が発達
アカマツ (深根性) ミズナラ (深根性)	スギ (深根性) クヌギ (中間性)	フナ (浅根性) シラカシ (浅根性)
マツ型	スギ型	フナ型



成長した木の根は、土砂災害を防ぐ効果もあります。木の種類によって、根の形は様々です。

成長したマツの根
しっかりと山が崩れるのを
おさえてくれています。



森林があるおかげで、土砂崩れや、雨で地面が削られる量が減るので、山から出てくる土砂の量が少なくなっている。

結果的に土砂災害が発生しにくい